

新 甲賀の野菜生産拡大推進事業

370万円

水田で出荷用野菜を生産する農家を支援します。また、生産拡大した甲賀市産野菜を「甲賀野菜」としてブランド化に努めます。

新 米の消費拡大推進事業

634万円

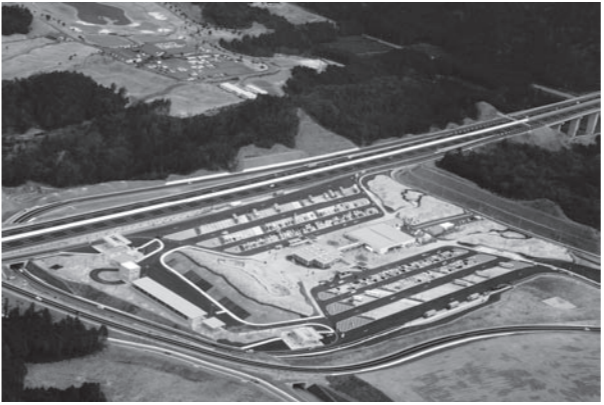
学校給食に甲賀市産米の米粉パンを提供することで米の消費拡大を図ります。また、すべての米飯給食の米を甲賀市産米にすることで地産地消を促進します。

4 高速道路等を活かした賑わいづくり

新 新名神高速道路を活用した地域づくり事業

1,400万円

地域資源を活かした「新名神高速道路活用戦略」を策定します。また、地域ブランドの開発や、地域物産アンテナショップ



新名神高速道路を核としたまちづくりを

6 みんなで支えあう地域コミュニティづくり

新 新しい地域コミュニティ推進事業

1億6,000万円

概ね小学校区単位の区・自治会や各種団体が連携できるしくみとして「自治振興会」を創設いただき、様々な課題や問題に対応していきける力強い活気あふれる地域づくりをめざします。市は、地域で決めた地域で活用いただける自治振興交付金をそれぞれの組織に交付します。

新 市民活動支援機能研究業務

50万円

市内のNPOやボランティアグループ、区・自治会、自治振興会などの活動がさらに発展充実するよう、市民活動団体とともに市民活動支援機能のあり方について調査、研究を進めます。

新 市民協働事業提案制度

250万円

地域の課題を解決するために、市と一緒に取り組むことでより効果が高まる事業を、市に提案いただき協働を基本に事業展開する制度です。

新 景観計画策定事業

470万円

景観による「甲賀らしさ」を市民、事業者・市の協働で推進し、美しく魅力あふれる景観を守り、創り、後世に引き継いでいくことを目的として景観計画を策定します。

その他の事業

将来的な課題の検討

今後、新たな課題となることが想定される事項については、早期からその状況を把握するとともに、検討を開始します。

① 甲賀市庁舎改修整備の検討

水口庁舎は建築から約40年が経過し、新耐震基準では強度不足で地震に対して危険性が高く、非常時の防災拠点としての機能を果たせない恐れがあります。また、合併時に増改築を行わなかったことから事務スペースや会議室などが非常に狭く利便性、効率性を損なっている状態です。本庁機能が分散していることもあわせると将来にわたり質の高い市民サービスの提供を確保していくことは限界に近づいています。

現在の水口庁舎の敷地や庁舎を可能な限り活用して、市民の利便性の向上や行政運営の円滑化に資する庁舎整備のあり方について、外部委員による庁舎検討委員会を設置して検討します。

② 信楽・水口学校給食センター改修の検討

信楽学校給食センターと水口学校給食センターは、施設の建築から信楽は40年、水口は29年が経過し、施設はもとより調理や洗浄などの機械類の老朽化が著しく、現状のままでは数年後には衛生管理基準を下回ることが懸念されます。施設整備にあたって、両施設の一体化による建設の可否やその運営方法などについて検討します。

※市ホームページや、水口庁舎・各地域市民センターの「情報コーナー」で、市の主な事業等を記した予算資料をご覧いただけます。

環境配慮枠

地球温暖化防止に向けた取り組みを推進します。

① 電気使用量削減に関する取り組み

● 防犯灯省エネルギー事業 300万円
防犯灯を低電力のLEDに変更することでCO2の削減を図ります。

● 公共施設の照明灯を高効率照明器具に変更 300万円
小学校、図書館、文化ホール、歴史民俗資料館の照明灯をLEDに変更することでCO2の削減を図ります。

● 庁舎等電気使用量デマンド管理 600万円
電気使用量を管理するためのデマンド装置を各庁舎などに設置します。

● 庁舎電灯回路分割 30万円
窓側では照明が無くても基準の照度を確保できることから、回路の分割を行い、適切で効率的な照明の点灯に努めます。

② 公用車の適正利用に関する取り組み

● 低公害車導入 540万円
年式の古い車を、ハイブリッド車3台を含む低公害車に更新します。

ゼロ予算事業

特別な予算措置をすることなく職員一人ひとりの創意工夫のもとで行政サービスの向上につながる取り組みを推進します。

① 甲賀の魅力を発信する

- ・「忍者」をコンセプトとしたご当地ナンバープレートの図案化
- ・統計から考える甲賀市なんでもランキング
- ・地域に眠る産業遺産や観光資源、やきものの製作現場などを散策する信楽焼再発見「まち歩きツアー」

② 安全・安心なまちづくり

- ・保健師の安心子育て訪問
- ・市道の損傷を市職員をはじめとしたみんなでパトロール(みなパト)
- ・まちと水を見守る 水援隊事業
- ・障害児とのふれ愛 みまもり隊
- ・高齢者安心見守りネットワーク事業

③ 市役所の技術・情報を届ける

- ・出前講座の充実
- ・防災スクール事業
- ・健康教室の開催

④ その他

- ・「『元気なこうか』行政経営研究会設置」による政策形成能力向上事業
- ・屋外広告物クリーンキャンペーン事業
- ・緑のカーテン事業

問い合わせ

財政課 財政係 ☎65-0676 📠63-4561



聖武天皇の宮跡として高い価値と知名度を持つ紫香楽宮跡

5 安全・安心で世代や地域を越えた活発な交流のあるまちづくり

新 事業執行安全管理アドバイザー設置事業 78万円
市が執行する事業の安全管理・危機管理に関し、専門的な外部アドバイザーを設置し、安全管理・危機管理体制の強化を図ります。

新 地域情報化基盤整備事業

22億700万円

緊急情報やお知らせなどを、誰もが等しく知ることができ、安全安心のサービスの充実、発展のため、インターネットやテレビ放送、音声告知放送を市内全域で利用できる光ケーブル網の整備を行います。

新 ホームページの充実・強化

1,000万円

新 住民記録システム改修業務

1億738万円

当初の計画策定から30年以上が経過した都市計画道路について、道路整備の基本方針、将来道路網、街路プログラムの検討などを行い、都市計画道路の廃止を含めた見直しを行います。

新 紫香楽宮跡整備活用事業

3,500万円

史跡紫香楽宮跡の積極的な活用を図る



新システムが導入される市ホームページ

新 甲南消防署庁舎建設事業負担金

2億4,494万円

複雑多様化する消防救急ニーズに対し、迅速、的確かつ効率的に対応するため、現在の甲南消防署を移転し新築整備します。(事業主体・甲賀広域行政組合)

新 災害発生時における業務継続計画(BCP)策定等事業

1,000万円

災害発生時においても、市民への必要不可欠な住民サービスを提供することができる体制を整えるための業務継続計画を策定します。

新 洪水浸水ハザードマップ作成事業

600万円

大雨で大戸川が氾濫し、浸水が想定される区域をはじめ、その周辺の避難所や要援護者施設、避難経路上の危険箇所、および災害学習情報などを記載した洪水ハザードマップを作成します。

新 民間賃貸住宅家賃補助事業

480万円

民間賃貸アパートに入居する市営住宅入居申込資格に該当する方に平成26年度までの4年間に限り、2年間の家賃の